

給排気グリル
セントラル換気用
システム部材

形 名
AT-50QKTF

メルコエアテクノロジー

取扱説明書（据付説明書付）

この製品はセントラル換気システムの給排気口として住宅居住室内の天井・壁・床に据付けて使用してください。それ以外の用途・場所には使用（据付け）しないでください。

■この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。

■据付けを始める前に、この説明書をよくお読みになり正しく安全に据付けてください。

■据付けは販売店・工事店様が実施してください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

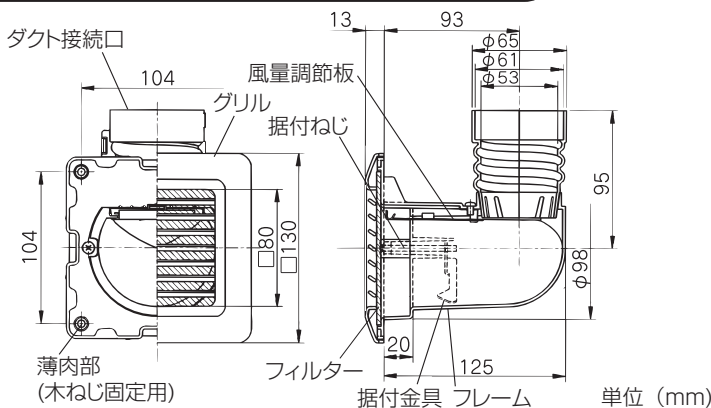
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

	注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
	禁 止	<ul style="list-style-type: none"> ●冷暖房用の給気グリルとして使用しない（結露水が滴下して家財を汚損する原因） ●本体に荷重をかけない（落下によりけがをする原因）
	指示に従い必ず行う	<ul style="list-style-type: none"> ●据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う（落下によりけがをする原因） ●グリルの取付けは確実に行う（落下によりけがをする原因） ●据付けやお手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがをする原因）

据付け前のお願い

- 直接炎・油煙が当たるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用できません。
- 高温（40℃以上）になる場所・浴室などの湿度が高い場所では使用できません。
- 据付けの環境によっては結露することがあります。
- 火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上離れた場所に据付けてください。
- メンテナンスができる場所に据付けてください。
- 設置したダクトに著しい変形（ツブレ等）や極端な曲げがある場合は、製品を据付けしないでください。
- 石こうボードにねじ固定する場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用して据付けてください。
- 床面に据付ける場合、グリルに重いものをのせたり、足で踏む場所には据付けしないでください。
- 据付面に反り・凸凹がないか確認して据付けてください。

各部のなまえと外形寸法図



適用パイプ

- ダクトホース（断熱なし）
- ダクトホース（断熱あり）
- フレキシブルダクト

据付可能場所

- 天井・壁・床（踏みつけられない場所）

据付可能板厚

- 5～25mm
(据付金具で据付けられない場合
木ねじで固定してください)

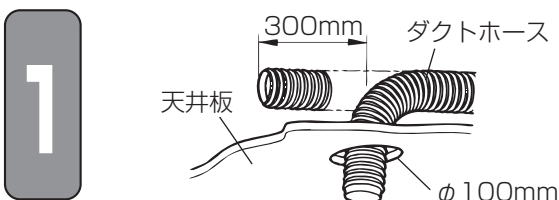
据付方法

お願い

開梱時、風量調節板は全開の状態です。必要な開口面積になるように調節して使用してください

■据付けには、天井据付け・壁据付け・床据付けの3通りあります。

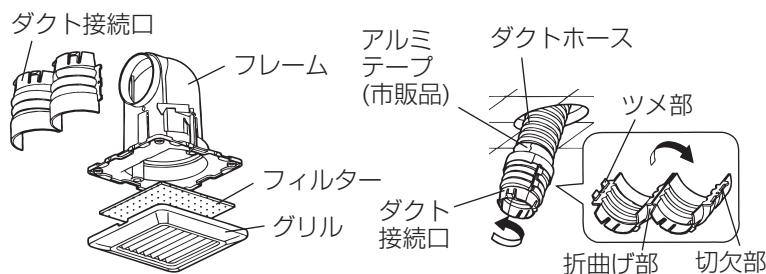
ここでは、天井据付けを示します。壁据付けと床据付けは、同様に行ってください。



ダクトホースの配管

- 1.ダクトホースを据付位置まで配管し、据付位置より300mm程長くして切断する。
- 2.天井板を張り、据付位置にφ100mmの穴を開け、ダクトホースを引き出す。

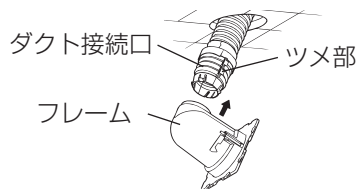
2



ダクトホースの接続

- 1.ダクト接続口の折曲げ部を折り曲げ、ツメ部を切欠部にはめ込む。
- 2.ダクト接続口をダクトホースの先端にはめ込み、ダクト接続口を図のように時計と反対方向に回し確実にねじ込む。
●ダクトホース（断熱あり）を使用する場合は、断熱部分のみを先端 50mm 切断します。
- 3.ダクトホースとダクト接続口の合わせ部全周をアルミテープで風漏れのないよう2回以上巻き付ける。

3



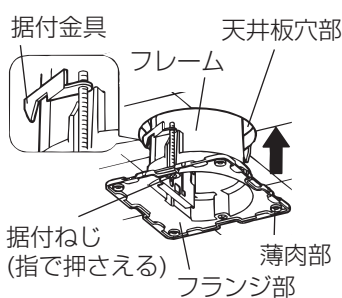
ダクト接続口とフレームの接続

図のようにダクト接続口のツメ部をフレームに対して横向きになるようにしてフレームの接続口に差し込む。

4

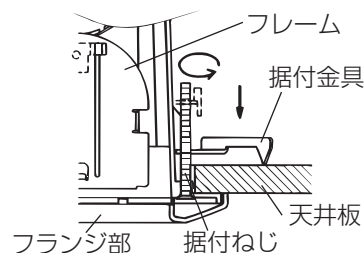
据付金具による据付け

- 1.据付金具を図の位置にしたままフランジ部の据付ねじを指で押さえながら、フレームを天井穴部に差し込む。
●据付ねじが下にさがると据付金具の位置がずれて天井板穴部に差し込めなくなります。
必ず据付ねじを指で押さえてください。
- 2.フランジ部の据付ねじ(2本)を締め付けると図のように据付金具が下に移動し、フレームが天井板に確実に据付けられます。

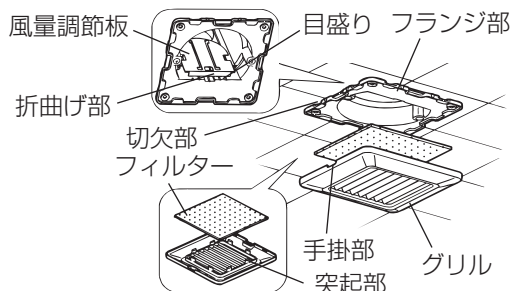


木ねじによる据付け

- フランジ部の薄肉部(4か所)を市販の木ねじ(4本)にて締め付け固定する。



5



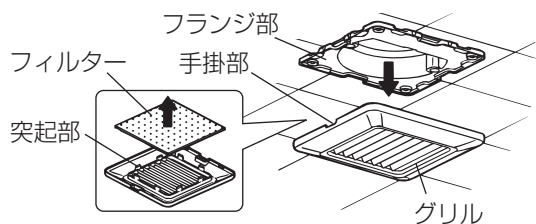
風量の調節とグリルの取付け

- 1.必要に応じて風量調節板により、開口面積を調節する。
●開梱時、風量調節板は全開の状態です。
フレームの内側の目盛りを目安に、手またはラジオペンチ等で風量調節板を移動させ折曲げ部の位置で開口面積を決めます。
- 2.グリル内側の突起部(8か所)に、フィルターを置く。
- 3.グリルをお好みの風方向に合わせ、グリルの手掛部をフランジ部の切欠部に合わせてはめ込む。

お手入れ

グリル吸込口やフィルターにほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。2か月に1度を目安として清掃してください。

- 清掃の際には、接続されている換気扇の運転を停止してから行ってください。



- 1.グリルをはずす。
●グリルの両側の手掛部を持って下へ引きながらフランジ部からはずします。
- 2.グリルからフィルターを取り出す。
- 3.グリル・フィルターの清掃をする。
●グリルの汚れはぬるま湯(40℃以下)に浸した布をかたくしぼってふく。汚れのひどい場合は、薄めた台所用中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。
●フィルターの汚れは、きれいな水で軽く水洗いし、よく乾かす。
- 4.フィルター・グリルを元通り取付ける。

お願い

- フィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。
- フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いしたり、直接火にあてて乾かしたり、ドライヤーなどで温風をあてて乾かすことは絶対にしないでください。
- 台所用中性洗剤を使用量の目安まで薄めて使用してください。(洗剤は原液のままで使用しないでください)
- 台所用中性洗剤で清掃した後は、中性洗剤が残らないようふきとってください。
- フィルターを入れ忘れますと壁や天井が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないよう十分注意してください。フィルターはグリル内側の突起部(8か所)に差し込みます。

- お手入れに下記の溶剤や洗剤、清掃用具を使用しないでください。製品表面に傷つきや破損・変形・変質・変色、割れが発生する原因になります。(シンナー、アルコール、ベンジンなどの溶剤、ガソリン、灯油、カビ取り洗剤、柑橘系などの植物系洗剤、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんの薬品、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など)
- 交換用フィルターは、純正品をご使用ください。
純正品は、下記にてお買い求めいただけます。

交換用フィルターのご注文

■オンラインショップ

<https://www.melcoairtec.jp/>

右の二次元コードからもアクセスできます



※お問い合わせは、本紙末尾に記載されているフリーダイヤルよりご連絡ください。

メルコエアテクノロジー株式会社

駒場事業所

〒508-0011 岐阜県中津川市駒場526-2

フリーダイヤル TEL: 0120-66-9893 FAX: 0120-66-9895

ホームページアドレス: <https://www.melat.co.jp/>